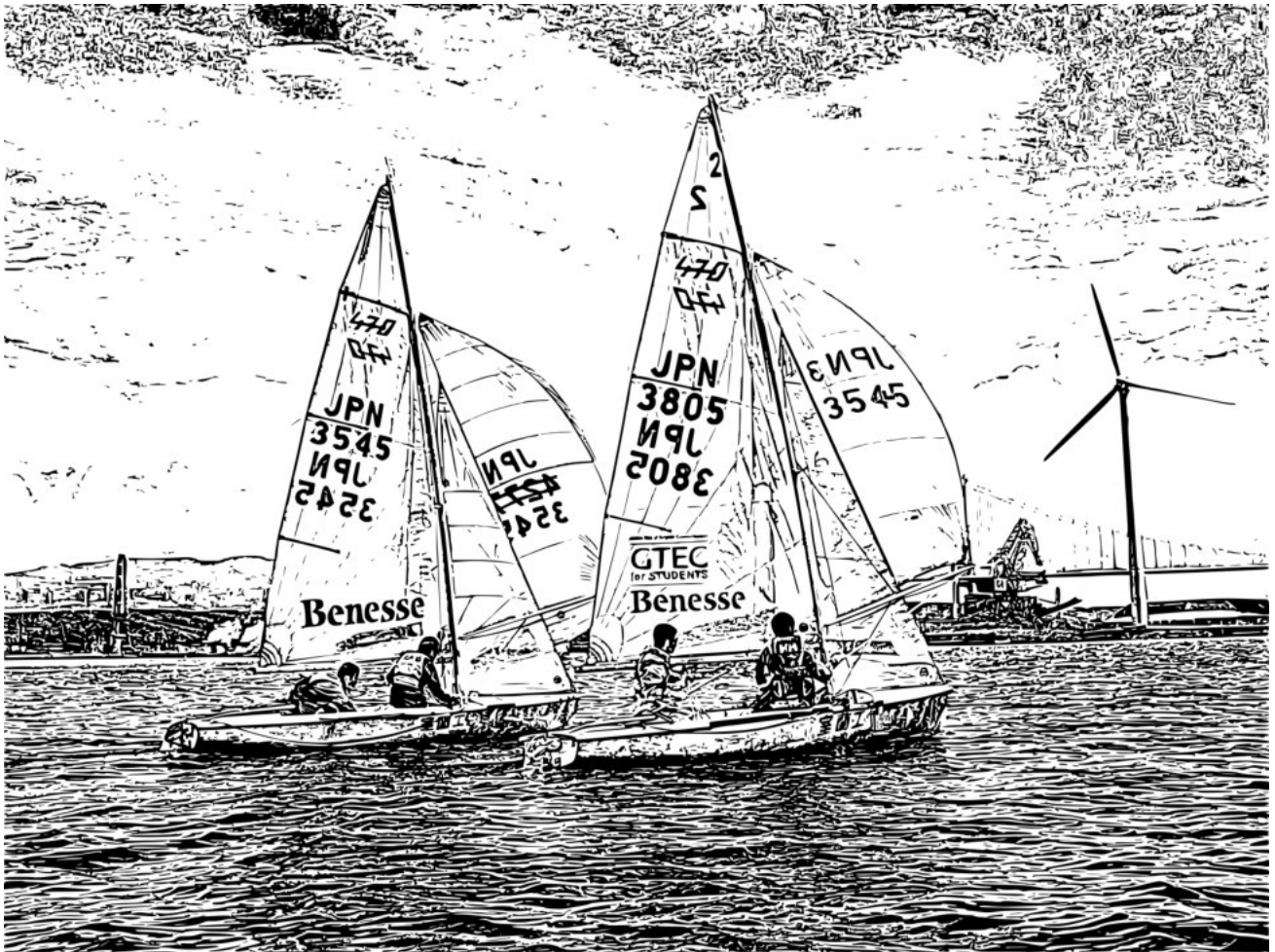


LEEWARD

NO.20



*Muroran Institute of Technology
470 Yacht Racing Team
Since 1966*

目次

1. 主将から
2. 元主将から
3. OBから
4. 4年生から
5. 部員紹介
6. スケジュール
7. レース報告
8. 来年度への意気込み
9. 2013年収支決算
10. 2014年収支予算
11. 編集後記

1. 主将から

建築社会基盤系学科 3年

村田 明日香

主将から

村田 明日香

49期主将をしています村田です。室工大ヨット部初女部長をしています。

私が部長になって感じることは、みんなをまとめたり練習内容や船の手配をする仕事も大変ですが、部長をしながら楽しむのがなかなか難しいと感じます。やっぱり、部長が楽しまないと部活自体も楽しめない！と思います。なので来年は自分自身にゆとりをもって、真面目にするところは真面目に、楽しむところはおもいきり楽しめるそんな部活にしたいとおもっています。そして、今年は室蘭港の外洋で一ヶ月に一回ぐらいのペースで練習すること、小樽での練習期間を長めにとろうかと考えています。

今年の夏の小樽は去年より、安全だったと思っていましたが45に穴が空いたり、不注意な事があったので

きちんとした練習の方針、方法が大切なのだと、痛感しました。

上級生がすくないこともあり、OBの方々には練習に来ていただきました。特に西嶋さん、市岡さんには練習をみてもらったり、練習メニューのアドバイスをもらったりとたくさんのご指導をいただきました。離れているところから、援助をくださる方々にも感謝をしつつ、目標の全国を目指そうと思っていますので、応援のほうよろしくをお願いします。

2. 元主将から

機械航空創造系学科 4年

市岡 伸也

市岡 伸也

OB・OGの皆様、昨年はたくさんの応援や支援ありがとうございました。48期は大きな事故や怪我人を出すことなく終える事ができ、ほっとしています。私の代のヨット部は47期の先輩方がどっと引退したところから始まり、2・3年生が合計3人しかおらず470が3艇で出艇すると救助艇は一年生のみという状況でした。さらに上級生ヘルムスは私一人であり残りの2艇は新人ヘルムスという、セーリング技術や救助能力のとても低いところからのスタートでした。そんな中でも最後まで無事に部活が出来たのは、多くのOB、OGの方々が部活に顔を出して下さり、アドバイスを下さったためだと思います。本当にありがとうございました。

私たちはインカレ団体戦本選出場を目標に今年の部活動を取り組んできましたが、残念ながら達成できませんでした。あの時ああしていればとか、練習方針をこうしていればなどという思いが多少はありますが、そのつど私達自身がベストだと思う選択をしてきた結果なので後悔はしていません。しかし後輩達には来年こそは団体戦で全国に行って欲しいと思います。

私は主将として一丸となって勝ちに行くチームを作りたいと思っていました。やるからには勝たねば。しかし上級生が少なく、部としての実力不足は深刻であり多くの時間をハンドリングなどの基本的な練習に使わなければなりません。結果としてレースで勝つために必要なボートスピードやコース取りなどはおろそかになってしまい、団体戦では悔しい思いをしました。私はたいしたレース成績は残せませんでした。しかし平日に陸練したいと言ってきたり時間をおしまずヨットの整備している後輩を見ると、勝ちへのこだわりといった私のヨットへの思いは残すことが出来たのだと思います。

出来ることなら来シーズンもこの後輩たちとレースに出たいところですが、それはかなわないので、OBとしてできる限りのサポートをしていこうと思います。また、新主将の村田が今後どのようなチーム作りをして、どのようなチームになっていくのか楽しみながら見守りたいと思います。

3. OBから

航空宇宙システム工学専攻修士 1 年

大加瀬 容平

現役の皆さんへ

大加瀬 容平

現役の皆さん、昨シーズンはお疲れ様でした。上級生が少ない状態で、普段の練習もなかなか大変だったと思います。そのような中、大会では力不足を感じることもあったかもしれませんが、その中から何かを学び取って大きく成長できたものと期待しています。また、現役の皆さんは、疑問に思ったことを上級生やOBの方々に積極的に質問しているようで、とても感心しています。これからもその姿勢を大切にして練習に励んでください。

さて、ヨット部に入ったきっかけは皆それぞれ違うと思いますが、せっかく室工大のヨット部員になったのですから、存分にヨット部生活を楽しんでほしいと思います。大学4年間というのは短いもので、気が付いたらあっという間に卒業の時期が来てしまいます。今しかできないことを大切にして、後悔のない日々を送ってほしいです。ヨット部の4年間はあっという間ですが、その経験は今後の人生で必ず役に立つはずですよ。

最後になりますが、今いるヨット部の仲間を大切にしてください。大学時代の友は一生の友などと言いますが、大学生活の半分以上を一緒に過ごしたヨット部の仲間は、将来もかけがえのない存在となるはずです。部活を続けていると楽しいことばかりではないと思いますが、仲間がいれば乗り越えていけると思います。室工大ヨット部の仲の良さと団結力を存分に発揮して、大会でも是非良い結果を残してください。応援しています。

4. 4年生から

機械航空創造系学科 4年

市岡 伸也

情報電子工学系学科 4年

佐々木 渉

4年生から

市岡 伸也

お前3年生じゃん！と思った先輩方、うるさいです。

四年間振り返ってみると、つらいこともありましたがヨット部に入って本当に良かったです。入学したときは野球部入ろうかなーなんて漠然と思っていたのが、気づけばなぜかヨット部に。誘ってくれた46期の山本さんに感謝です。

私は四年間の部活を通して、“まじめ”にやることと“本気”でやることは違うという事に気づきました。私は二年生の夏くらいまでは先輩に言われることをこなしていただけでした。しかし気が付くと、どうやったら上達するか、自分に足りないものは何かなどを考えながら普段すごすようになりました。今までこれほど本気で取り組んだことは他になかったので自分でも驚きでした。

本気で試行錯誤しながら取り組む姿勢は、ヨットだけでなく他の事にも必ず生きてくると思います。なので現役たちが、せっかくヨット部に入ったのだから、本気でヨットに取り組んでくれたらうれしいです。いまの現役たちを見ていたらそんな心配必要ないですけどね。むしろテスト前くらいは学業優先しろと...

最後に、四年間のヨット部生活はとても楽しかったです。先輩方にはお世話になりました、ありがとうございました。後輩たちは全国大会目指してこれかもがんばって下さい。

ヨット部として

佐々木 渉

四年生からということで何を書けば良いのか難しいけど簡単に書きたい事だけ書きたいと思います。

まずヨット部で学んだこと。まずヨットが楽しいということ。ヨットの楽しさというかヨット部の、そして470の楽しさっていうのは1人でやることではないということ。高校の頃まで剣道をやってたけど、剣道は大学ヨットと同じで団体戦はあるけど自分1人で戦うので自分だけが頑張れば頑張った分だけ強くなるけどヨットはそうはいかなくてそこが難しく面白い所だと思う。だから470では2人の実力がその艇の実力なのだから艇のスピードが遅いのを一緒に乗ってるクルー、もしくはヘルムスにするのは間違いだと他の人はそんなこと思ってないかもしれないけど個人的にはそう考えてる。そこを2人でどうにかして一緒に上手くなっていくという感覚が自分がヨットを面白いと最初に感じたことでもある。だから2人で、艇で、部活として強くなって欲しい。

次にヨットの話ではなくてヨット部としての話。まず前提としてヨット部は部活だということ。これ大事。そして部活の運営というものがものすごく大切であると現役のギリギリの最上級生くらいになってやっと気付いてしまう。これをすれば部活の運営が上手くいきますよー。という正解がないのでこれをやりなさい的なことは言えないのですが最低限やって欲しいことがあります。常に頭使って、考えて、楽しんでヨットに乗って欲しいということです。というのも頭使って考えて乗っていないと目標には届かないということを最初から気付いていれば自分はずっと上手くなれたなあと自分が後悔したので。あとは楽しくないと絶対に続かないしヨットの面白さに気づく前にヨットから離れてしまうからです。だけど部活なので続けることが目標だと履き違えないようにするべき。

最後に自分の反省として最初に掲げた目標を達成出来なくて実力が足りなかったというのとヨット部なんだからお遊びサークルじゃないと言われてもっとちゃんと出来ることがあったなと今更になって後悔するばかりなのでそれを後輩には生かしてもらいたいです。

5. 部員紹介

四年目三年生の肉食系男子

機械航空創造系学科 4年目 市岡 伸也

最初にちゃん未来に声かけてよかったですね。ほかの女の子ならあっさりスルーかシカトされてましたよ。あの場所で女の子に電話番号教えてとか、さすがです。そんな市岡さんの名前で市岡さんを表現します。

いづかさんを

ちんさせたとか

おどろきです

かのじょができて

のこすことは

ぶかつのしどうと

やりちんにならないことですね

しんやではやりにくかったのでのぶやにしました。(笑)

すみません。

わたるさんとは

情報電子工学系学科 4年目 佐々木 渉

わたるさんとは40代も半ばに差し掛かかり老いを意識し始めている今日この頃。彼はピザを作って商売している。そう、人々のピザを食べたいという気持ちをいいように利用してピザを売りさばいているのである。歳も歳である。このようなあくどい商売はやめるべきであると、きちんと更生して人々を幸せに出来るような職につくべきであると、誰かが彼に言ってあげなければならない。そんなわたるさんもヨット部を今年で引退。40過ぎてるんだからとっくに引退してるのでは？それは当然の疑問だ。だが今年で引退なのだ。なんなら今年大会にも出ていた。そこらへんは裏で何らかの力が働いていたのだろう。そこの謎に触れてしまった人は社会的に消されてしまおうとかなんとか…おっと誰かが来たようだよわああああああああああああああああ

ちゃげさん

建築社会基盤系学科3年 村田 明日香

「尊敬してる先輩は？」

ちゃげさんです。てか、ちゃげさんしかいません。

「それほんとに尊敬してる？ところで、何でちゃげって呼ばれてるの？」

知りませんよ。作った人に聞いてくださいよ。

「だれ作ったの？」

N氏です。これ以上は、勘弁してください。風穴あくんで…。

「何の話だ？」

どちらかというと、N氏にです。

「そうじゃなくて、っておい！どこ行くんだ！」

マネ長

機械航空創造系学科2年 相澤 健哉

マネ長 相澤健哉、自前の中華鍋で麻婆豆腐つくっちゃう相澤さん。

そんな相澤さんに渡してはいけないものがある。

…それはそうめんである。

’そうめんえのき事件’

流しそうめんをした際、そうめんを束ねるためについでる紙をはずさずに茹でてしまい、えのきのようになって流れてきたという。

’Tけしさん腹壊し事件’

相澤さんが作ったそうめんを食べてヨット部部員のTけしさんがお腹を壊してしまったという。

よって相澤さんにはそうめん渡すべからずなのである。

調査報告書

機械航空創造系学科 2 年生 大原 伸

我々はある人物より室工ヨット部に所属する大原伸氏(20)の調査を依頼された。

そこで今回、我々はヨット部の一年生 8 名へのアンケートという形で彼の素性を暴くことを試みた。これはその報告書である。

Q1 大原さんといえば？

A1 工房長 3 ヘルムス 2 ツッコミ 1 黒ジャージ 1 じぇじぇ 1

Q2 彼が乗っているものといえば？

A2 ヨット 3 LIFE 3 スノボ 1 野田さん 1

Q3 彼の名コンビは？

A3 野田さん 3 碓井さん 2 渉さん 2 ちゃん未来 1

Q4 彼が好きなものは？

A4 YUI 3 ヨット 2 車 2 ペンチ 1

Q5 今、彼が欲しいと思っているものは？

A5 ウェットスーツ 2 新艇 2 YUI のサイン付きアルバム 2
彼女 1 V型12気筒レシプロエンジン 1

Q6 彼は良い先輩だと思う？

A6 大変そう思う 5 そう思う 2 思わない 0 わからない 1

以上より、大原氏は YUI が好きなヨット乗りのエンジニアであり大変ユニークで後輩に慕われる人物であることがわかった。なるほど…。これにて報告を終わる。

※実際にアンケート調査を行ったわけではありません。

※失礼だと感じた箇所がありましたらお詫び申し上げます。

碓井真大さんについて

応用理化学系学科 2 年 碓井 真大

碓井さんは応化の2年生です。

なんとなくいつもテンションが低いような感じがします。

最近、車を持たれたのですが運転が荒いので怖いです。安全運転お願いします。

ヨットに乗るときは怖いと評判です。よく怒鳴る声が聞こえてきます。

碓井さんと乗ることになると1年生は皆、少し緊張するようです。

本人は大声出してるから怒って聞こえるだけと言っています。

でもヨットを降りると優しくなります。

いつも穏やかでいて欲しいですね。

今回は真面目に他己紹介 佐藤徹三郎について

機械航空創造系学科2年 佐藤 徹三郎

名前を佐藤徹三郎と言う、歴史上の人物である夜間ガラケー三銃士の内の1人。佐藤までは良く聞く日本に1番多い名字だなーなんて思う。

だがしかし！驚くべきはその名前！徹三郎なのである！その名前だけを聞けば年金暮らしのゲートボールと盆栽が趣味の屈強な髭や白髪を生やし戦後を生きた見た目はまるで中国武将の激昂した関羽のような老人を想像するだろうがボーリングとお菓子作りが趣味のそこら辺の若者である。なんというギャップであろうか。まるでフィクションの世界である。

そして部活の時、頻繁に手作りお菓子を振る舞う姿は、さながら聖人君子かマザーテレサかジャムおじさんか。そして料理の腕前はあのマネージャー！あのマネージャー！！と同等、いやそれ以上か！！(マネージャー以上って別に褒め言葉ではないか、普通ってことだし、多分本人も喜ばないであろうし笑)そんなことを言われれば愛想笑いを浮かべるだろうがあ眼鏡の奥は全くの無表情に違いない。そんな彼のご機嫌を取る方法は簡単である、ボーリング、洗車、遊戯王辺りを話題にちょっと出せばその顔は打って変わって満面の笑みに変わるであろう。

あとは愛車は呂布の赤兎馬の如く赤いFitである。しかしシャアのように三倍速いわけではない。むしろ遅い。超が付くほどの安全運転であるがときどき気分が乗ってるのか機嫌が悪いのか分からないが雑になることもある。多分気分屋なのだろうと最近を感じる。その証拠によくわからないツボにハマることが多々ある。不思議である。

トイレの神様

建築社会基盤系学科2年 田辺 偉士

ヨット部のトイレには神様がいます。神様のおかげで艇庫のトイレはいつもピカピカである。掃除を押し付けてるわけではない、本人がやりたがるのだ。←完全にいじめっ子の発言だが紛れも無い事実である。神様はポケモンも大好きである。本名はタケシだからきっと岩タイプのパーティを使っているにちがいない(偏見)。彼は歩くのも好きである。小樽市祝津という陸の孤島で彼はときどき、消える。合宿にて「あれ、たけしどこいったー?」「歩いて湯の花いきましたー」驚愕である。

まとめると、かれは独特のペースと感覚をもっている。そして真面目そうであり、きっちりしてそうであり、頑張り屋に見えるが、「無理っす」と言うまでは案外早いのが残念である。しかし何かにハマった時のモチベーションというか集中力は部内1のため、彼の今後の活躍に期待大である。

『最高だよっ』

機械航空創造系学科 2年 野田 達也

喜んでるときも最高だよ
怒ってるときも最高だよ
哀しいときも最高だよ
楽しいときも最高だよ
酔っても最高だよ
部活で嫌なことあっても最高だよ
ガソリンポンプでジュースのんでも最高だよ
親が家に来て誰かにエ〇ゲーわたしても最高だよ

最高だよっ。

この人にふさわしい言葉です。

この言葉と同時にあの笑顔が
あるからこそそのすごさ。
あの笑顔で新入生を何人入れたか。
マネージャーを何人入れたか。
さすが。

最高だよお

石塚昌也についての調査報告

情報電子工学系学科 1年 石塚 昌也

“石塚”あるいは“石ちゃん”と呼ばれている彼。おそらく部内で1,2位を争う物静かで静か～な人であろう。また、小柄な体型をしており、周りからは体重を増やした方がいいと言われている。「最近は入学時よりも太った！」と彼は言う。

だが、どうしたことか僕には変化がわからない。もっと食べよう！そうそう、彼の部屋には麻雀のセットがあるらしい。

「3度の飯よりも麻雀」

と言うほど好きらしい。今度、麻雀やりにお邪魔しますよ。そうそう、彼はどうやら成績が優秀らしい。前期のGPAが4.6!?!いや4.8?!…なんだって!!つまずいたら聞きに行こう。そうそう、…。

彼の素顔って一体どんなだろう。まだまだ僕は彼について知らなすぎるので、これからも調査を進めます。ほんの一部ではありましたがこれにて報告は以上です。

「ちゃんみく」

情報電子工学系学科1年 今井 未来

みなさんこんにちは。私の名前は今井未来です。ヨット部には「ちゃんみく」って呼ばれてます(ヨット部限定だって知ってました?)。稀府出身です。え!稀府ってどこだって!知らないんですか!伊達に行く途中にあるんですよ!みんなには稀府共和国とか外国とか日本語が通じないとかバカにしていますけどすごくいいところなんです。バカにしないでください!

私、料理は出来ないけどお菓子つくるのは得意なんですよ~、クッキーとかケーキとか上手いんですよ。この前もヨット部にお菓子作っていったらおいしいって言ってくれたんですよ!私にだって得意なことはあるんですからねっ

ではこれからもおいしいお昼ご飯をみくが作るんで楽しみにしててくださいね。

【速報】木下、車内でバナナテロ

機械航空創造系学科1年 木下 雅也

本日早朝、室蘭市在住の佐藤徹三郎さん(20)の車内でバナナのおいが充満する事件が発生した。乗員にけがはなく、においはまもなく消えた模様。警察は、室蘭市在住の木下雅也容疑者を逮捕し、事情を聴いている。

調べに対し、容疑者は「バナナは食べたが、逮捕されるのは間違っている」などと供述しており、釈放を求めている。

容疑者が所属する室蘭工業大学ヨット部では、容疑者はバナナ好きとして知られていて、朝のセブン集合の時によくバナナを食べる姿を見受けられていたという。

事件に居合わせた村田明日香さん(21)は「許されない事件。容疑者は一刻も早く犯行を認めてほしい」と事件の早期解決と訴えている。

田村健一郎について

機械航空創造系学科1年 田村 健一郎

9月以下、あのグンマーからやって来た田村健一郎(たむけん)についてまとめる。

- ・Twitterにて市岡さんをフォロー。そこからヨット部との繋がりができた。
- ・今こそ違うが入学当初中島に住んでいた。しかも彼はミラーであり、授業が全休の日も中島から学食まで通った。
- ・かなり高い実家に帰る率。(歯の矯正のため)
- ・気付いたらいなくなっている。
- ・それも含め、なかなか行動が予測できない。
- ・最近マスクしてないなあ

などなど…

「かおり とは……」

情報電子工学系学科1年 田中 かおり

とりあえず彼女のことをアホと言っときましょう。みんなには「かおりちゃん」と呼ばれています。(一部を除いて)。

かおりちゃんはマネージャーとしてヨット部を支えています。ヨット部のマネージャーが作る艇庫飯は、ちょーうまうまです。土日、夏休みの楽しみの1つです。なかなかのしっかり者で頼りになります。そしてなんとグミがちょー大好き。なにかあげるのであれば必ずグミにしましょう。

そんなかおりちゃんが、みんな大好き。これからもずっとヨット部を支えて行ってほしいです。

谷川美奈子の紹介

情報電子工学系学科1年 谷川 美奈子

谷川 美奈子

彼女はとても頭がよく、頼りになります。そんな真面目そうな彼女ですが…実はいつも寝てます(笑) 少しでも時間があればすぐ寝てしまいます。授業中もだいたい寝てるみたいです。もしくは、絵を書いています(笑) 教科書やノートやプリントなど、少しでも隙間があれば、よく絵を書いていますね。それなのに頭がいいのは本当に羨ましい限りです。さらに、彼女はゲームが大好きだと思います。具体的にどのようなゲームが好きなのかはわかりませんが、おそらく育成ゲームのような、ほのぼのしたようなものはあまりやらないと思います。むしろ、あくまでも勝手な想像ですが、敵をガツガツ倒していくようなアクションゲームのほうが好きだと思います。また、彼女は本も好きだと聞いたことがあります。おそらく、マンガとかをよく読むのだと思います。そんないろいろな一面を持った彼女ですが、本当にいい人です。そして、本当に優しいです。彼女が怒っているところは見たことがありません。心が広いのだと思います。是非見習いたいですね。

今回のゲストアーティストは「三木洗一」

応用理化学系学科1年 三木 洗一

三木洗一は北海道在住の現役大学生アカペラシンガーソングライター。高校時代、友人からの誘いで合唱部に入部したのがきっかけで歌に目覚める。その後、どんどん音楽にのめり込んでいった三木は地元札幌でストリートライブを行い、話題になり始めていたが、大学受験のため一旦音楽から離れることになる。そして、道内の工業大学に進学を決め、再び音楽活動を再開することに。大学では自ら立ち上げたアカペラサークルで活動する一方で、なんとヨット部にも所属し、週末には海の上でセーリングを楽しむといった意外な一面もある。

大学在学中に、ある音楽オーディションに送ったデモテープが某プロデューサーの目にとまり、スカウトされたことでメジャーデビューを決意する。今後、最も活躍が期待される注目の大型新人だ。

「堤妹」

機械航空創造系学科 1年 堤 友輔

こんにちは、今日は堤の双子の妹こと、さやかがお兄ちゃんの紹介をしたいと思います♡

お兄ちゃんの名前は友輔っていいます。(ヨット部のゆうすけ率多いですねー)

0型です!(マイペース!)

体重50kg(かなりの軽量級)

自称体力系(笑)

あまり、お酒はつよくない

好きなタイプは黒髪ロングで肌が白くて細くて背が小さくていい匂いがして目が大きくて白いワンピースが似合う少し気が強い女の子がタイプらしいです(注文が多いですね(・・;))

純粋な顔して腹黒(いつも、誰か海に落ちないかとチャッカで内心うきうきしているらしいです)

私は商大のヨット部マネージャーをしていますが、お兄ちゃんは室工でヨットの選手をしています(かっこいい!ヨット部で一番かっこいい!)

ヨット部エース狙ってる(いけやれ下克上!)

最後に私の自慢のお兄ちゃんをこれからもよろしくしてあげてください♡

この話はフィクションであり、実在の堤妹はかわいいです。

「この男アクティブです!!!」

機械航空創造系学科 1年 中岡 一真

彼はとってもアクティブな人間なんです。高校まではアルペンスキー。大学ではヨット。そして、三度の飯よりボウリング。体力だって底知れず艇庫まで自転車で行っちゃう強者。また、彼のファッションもとってもアクティブ?(笑)夏は目のチカチカするような蛍光色のジャンパー、冬はスノーピーのニット帽が定番です。カラオケに行けば天体観測を歌い、ゲームをするならパワプロ、バイトはサンクスで夜勤。インカレ団体戦予選でのレセプションでは1年生を引っ張り見事にセンターを務め成功に導いてくれました。さて、こんな感じで中岡一真がどんな男か分かっていたでしょうか?そんな彼も、ヨットに乗れば常に試行錯誤を繰り返し、練習ごとに自分の中で課題を克服していこうといつも頑張っています。その姿勢は僕も見習いたいと思うほどです。

これからこのアクティブな中岡くんが海の上でアクティブなセーリングを魅せてくれるのを楽しみにしたいです。

中澤建介の華麗なカラダとココロ

機械航空創造系学科 1年 中澤 建介

どうも、ヨット部の男1カラダが綺麗と噂されている(本当に綺麗な)中澤建介君の紹介です。彼の素敵なビキニ姿を見たらだれでも虜になりますよ。そんな完璧なボディラインをほこる彼の体の弱点ですけど、腹筋と脇ですかね。建介君はボディタッチが好きなんですけど、する時もされる時も(どちらかというときれるほうが)うれしそうですね。第十二肋骨から鎖骨あたりまでが(敏感で)いい感じの

反応しますね。

そんな彼の性格ですけど礼儀正しく素直（天然）な優しい子ですね。（表面上は）先輩には礼儀正しく、（先輩の前では）同級生には優しく、とても好感が持てます。弱点は流されやすい所（DM）と頼まれると断れない（隷属願望がある）ところですね。でも頼めば何でも聞いてくれます。彼はセンスもいいですね。おやつ芋けんぴも絶品でしたし、水着も初々しさゆえの恥じらい（誘い受け）とアダルティな魅力（どえろす）を兼ね備えた素晴らしい一品を持っています（複数所持）。

かなり（狙って）天然さんな建介君ですが彼の成長を願って締めくくりたいと思います。

謎すぎる西脇ゆきな取扱説明書

情報電子工学系学科1年 西脇 ゆきな

1. 愛知県出身で寒さに弱いです。
2. とにかく人見知りなので自分からは話しかけてきません。たくさん話しかけてみましょう。仲良くなると自分からよく話し、よく笑います。
3. 頭がいいです。バイトもしています。ダンスもやっています。アクティブだけど家が好き♡
4. 好きな食べ物はから揚げ！きのこ！うどん（具はいりません）！以上！
5. 嫌いな食べ物は野菜（ほぼ全て）、生クリーム、いちご……などたくさんあります。食べ物を与えるときは気を付けて！！
6. 動物を育てたりするアプリが大好きです。アプリで牛の出荷なんかしちゃってます。
7. ジャニーズが好きで嵐やSMAPの話をするとう喜びます。
8. 忘れっぽいです。昨日話していたことでも忘れちゃったり…。
9. でもここぞという時、頼りになります。
10. 滑舌が少し悪いので早口言葉は苦手です。
11. ということで謎すぎる西脇ゆきなちゃんともっともっと仲良くなりましょー
(*´ω`*)

見た目は子供！頭脳は大人？その名も間野青葉！

応用理化学系学科1年 間野 青葉

僕の名前は間野青葉。19才の大学1年生だ。訳あって5才の姿でいる。その理由を話すには単行本12冊くらい必要になるから割愛する。みんなは僕が実は19才であることを知らない。みんな僕のことを確実に5才であると思っている。なんとかならないものか。そろそろ気づいてほしい(泣)。

こんなこともあるが、ぼくには目標がある。野田さんと大原さんみたいな関係を同期で同学科の三木と築いていきたいと思っている。

これからヨットもだけど、みんなに19才だと気付いてもらえるように、三木との関係を進展させられるように頑張っていこう。

6. スケジュール

2013年

2月 追いコン 総会 ルール講習会

3月 洞爺湖練習 卒業式

4月 新入生歓迎期間 海洋センター・室蘭艇庫開き

5月 春期レース NHK取材TV出演

助監督 舘 雅治さんの壮行会

6月 エンルムカップ バッチテスト アカデミー

伊藤 研人さんの講演会

7月 小樽練習 国民体育大会 インカレ個戦予選

8月 試験期間 海洋センターマリニックのお手伝い 室蘭練習

9月 全道選手権 インカレ団体戦予選 地区インカレ

10月 白鳥大橋ヨットレース（中止）

海洋センター艇庫閉め 藤谷さんの結婚パーティ

11月 洞爺湖練習

12月 マネージャー感謝祭 忘年会

レセプション

木下 雅也

やあ、みんな！俺は室工ヨット部のプロレスラーKだ！！
え？なんでヨット部なのにプロレスなのかって？
デレシシッ！そんなの盛り上がったんだからどうだっていいじゃないか！！
まあ、気になる人は一年のM野君に聞いてくれたまえ！あれ？ToToみ君だったかな？
ちなみにToToみ君はトイレとは無関係なんだからねっ///
今年もダンスをやったんだけどあれは良かった！
四大学で一番盛り上がった自信があるよ！！
ん？ダンスが終わったらグダグダだったじゃないかって？
ぐぬぬ...。そこの君、鋭い質問だねえ
ここだけの話だが、俺たちはダンスに全てを懸けていたんだ！1
だからその後のことはほとんど考えていなかったのさっ！！
ストッキング対決で負けたら脱ぐという流れになった時はビックリしたよ！！
しかもスク水しか着てないI塚君が戦うことになって、あれは冷や汗かいたネ
結局、死ぬ気で頑張ったI塚君が勝ったけど、樽商マネージャーたちの前で全裸になるI塚君を見てみ
たいともチョット思ったかな？このことはみんなには内緒だからなっ！！
おっ！もうこんな時間か。新年のカウントダウンに行かなくちゃ！！
じゃあまた会おうな！アディオス！！

中岡 一真

9月上旬、俺たちは焦っていた。団戦での1年生の最大の仕事(?)であたるレセプションまで2週間を切っていた。まだ出し物が「ダンス」ということ以外は具体的な内容も決まらず、またそれを決めるような動きもなかった。
やっと動き出したのはレセプション1週間前で踊る曲も決まり練習が始まった。1年だけの艇庫で昼夜踊った。
(なんか成り行きでセンターになってたけどあまり気にしてない)
後日、みんなでドン・キホーテで衣装を購入。9人分の衣装を考えるのは大変だった。
(センターはチャイナドレスと決まっていたから自分のはすぐに決まったが)
当日、1年みんなに緊張が走るなか、躍りの後が決まってないことに焦る一同。結局、誰かさん(プライバシーのため名前は出さないが)がチューすることでまとまった。
結果はダンスは結構よい手応えだったが、最後のグダグダ感もなかなかのものだった。つまりあのキスは不要だったのだ。身内では美味しい話となったが(笑)
とにかく、事故なく無事に終わったので良かったです。

三木 洸一

9月某日、小樽は潮騒にて。本番前我々の緊張はピークに達していた。流れはアジカンのリライトに合わせて登場し、LOVEどっきゅんを踊った後ゲームでパンスト相撲をするというものである。しかしゲームの構成やら終わり方など何も考えておらず本番直前にみんなで話し合っていた。いざ本番である。リライトでの登場は予想以上の笑いが起きていた。好感触だ。続いてのダンスも踊りきり、なかなか良い雰囲気だった。いける、いけるぞ！さぁパンスト相撲でさらなる笑いが！起きるはずだった。いや、正確には起きていたのかもしれない。しかし、終わりの見えないグダグダ感と醍醐味であるパンストで引っ張られた顔が先輩方に見えづらかったのか盛り上がりはなくなる一方であった。まずい、非常にまずい。限界だ、最悪の事態になる前に終わってしまおう！するとなにやら間野と中澤の雰囲気がおかしい。なにやら2人の喧嘩が始まったようだ。おい、どうした。そんなことしてる場合じゃないだろう。この場を収めて早く終わらなくては。次の瞬間我々は目を疑った。2人が…唇を、交わしている…だと…？新たな恋が始まったレセプションでした。

マネージャー感謝祭

マネージャー感謝祭の感想

田中 かおり

「マネージャー感謝祭」をやると聞いて、何が行われるのかよくわからずにチャイナに行きました。楽しく呑んで、ご飯を食べていると各艇からの盛大なプレゼントが…！！ネタ的なものから実用的なものまで本当にたくさんのプレゼントと手作りのフルーツたっぷりの大きなケーキを頂きました。また、厚樹さんからもケーキを頂きました。ケーキすごく美味しかったです！二次会の監獄カラオケもいつものように、歌って踊って盛り上がりました。呑みすぎ食べ過ぎで途中気持ち悪くなっちゃった方もいましたが…とっても楽しかったです！たくさんの人に「いつもありがとう」という言葉をもらい本当に嬉しかったです。とても楽しく、素晴らしいマネージャー感謝祭をありがとうございました。これからもマネージャー一同美味しいごはんを作り、ヨット部にもっと貢献できればと思っています。来年度もよろしくお願いします！ヨット部大好き！

7. レース報告

春季レース

2013年度春季大会 (5月5, 6日)																						
基本情報				合計		1R		2R		3R		4R		5R		6R		7R		8R		
所属	SailNo	ヘルムス	クルー	点数	順位	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1	北海道大学	3793	武市	後藤/溝口	34	5	7	7	9	9	4	4	0CS	12	4	4	3	3	4	4	3	3
2	北海道大学	3993	飯塚	松谷/町谷	14	1	3	3	2	2	3	3	2	2	2	2	1	1	3	3	1	1
3	北海道大学	3842	中村	野崎	67	11	DNC	12	DNC	12	DNC	12	DNC	12	DNC	12	10	10	7	7	2	2
4	北海道大学	3714	幸若/伊藤	町谷	23	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0CS	12	6	6	6	6	7	7
5	室蘭工業大学	3545	碓井	野田	55	9	9	9	DNF	12	9	9	6	6	0CS	12	4	4	5	5	10	10
6	室蘭工業大学	4152	佐藤	佐々木	60	10	10	10	8	8	10	10	7	7	8	8	8	8	10	10	9	9
7	室蘭工業大学	3805	市岡	村田	30	4	5	5	5	5	6	6	4	4	7	7	2	2	2	2	6	6
8	小樽商科大学	3878	長縄	伊藤/徳田	24	3	4	4	4	4	5	5	3	3	3	3	5	5	1	1	4	4
9	小樽商科大学	3136	松浦	荒川/深村	47	7	6	6	6	6	8	8	0CS	12	5	5	9	9	8	8	5	5
10	小樽商科大学	3563	太田	三浦/宇野	48	8	8	8	7	7	7	7	5	5	6	6	7	7	9	9	8	8
11	0B	4091	山田	関口	44	6	2	2	3	3	2	2	0CS	12	1	1	DNC	12	DNC	12	DNC	12

4 1 5 2 佐藤徹三郎

二年生になって初めてのレースで自分がどれだけできないかを痛感した。軽風のコンディションでほとんど涉さんに指導されながら走る事となった。クローズ角やセンタリングの仕方といった基礎もできていなかったが、どうして船が遅いのがわかっていなかった。一日目の反省会では悔しくて泣いた。涉さんと乗っているのに自分のせいでビリだということもあったが、今まで自分でどうやれば船が早くなるのかを考えず、注意されながら先輩のいうことだけを聞いて、自分で考えてこなかったことにも後悔した。

このレースがあったから、ヨットに考えて乗るようになった。結果は散々だったが、この大会でヨットに取り組む姿勢が変わったと思う。技術はもちろん、知識など自分に足りないものがたくさん見つかった。来年には自分で船を走らせられるように、悔しくて泣くような順位をとることなど無いように練習していきたい。

国民体育大会北海道水域予選個人戦

2013年度国民体育大会北海道予選 (7月14, 15日)																	
基本情報				合計		1R		2R		3R		4R		5R		6R	
所属	SailNo	ヘルムス	クルー	点数	順位	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1	北海道大学	7	中村 野崎	35	8	5	5	5	5	10	10	12	12	8	8	7	7
2	北海道大学	3505	幸若 町谷	11	2	3	3	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3
3	北海道大学	4086	飯塚 松谷	24	4	4	4	6	6	3	3	5	5	11	11	6	6
4	北海道大学	4011	工藤 田口	8	1	7	7	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2
5	室蘭工業大学	3545	碓井 佐々木	44	11	10	10	7	7	8	8	9	9	10	10	10	10
6	室蘭工業大学	3542	市岡 野田	26	5	1	1	9	9	7	7	8	8	6	6	4	4
7	室蘭工業大学	3669	大原 村田	55	12	11	11	12	12	9	9	11	11	13	13	12	12
8	北海道大学	3	武市 溝口/後藤	13	3	6	6	3	3	4	4	4	4	1	1	1	1
9	北見工業大学	4378	山本 竹内	65	14	RET	15	13	13	11	11	13	13	14	14	14	14
10	北見工業大学	3883	朝妻 菊池	63	13	12	12	14	14	12	12	14	14	12	12	13	13
11	小樽商科大学	4376	長縄 徳田	31	7	2	2	4	4	RET	15	7	7	7	7	11	11
12	小樽商科大学	3878	太田 三浦	38	9	9	9	10	10	5	5	6	6	9	9	9	9
13	小樽商科大学	4072	松浦 宇野	39	10	8	8	11	11	DSQ	15	10	10	5	5	5	5
14	小樽商科大学	4091	山田 菅原	29	6	TPT	15	8	8	6	6	3	3	4	4	8	8

3 5 4 5 佐々木 渉

国体は夏休みに小樽の海で練習した成果を試せる良いチャンスであった。そして直後に控えた団体戦への各大学の力量を測る場でもあって練習では上手くいくことも大会では上手くいかずに思うように船を動かすことが出来ずに結果は良いものではありませんでした。軽風でヘルムスと上手く息は合わず満足いくレースを展開することは出来ずに終わってしまいました。OBさんが出場していたとはいっても、この時期にもっとちゃんとしたレース展開をさせてもらえないと良い結果が得られないとわかりました。OBさんの動きを良く見ることが出来てどんな練習よりも国体は良い経験になるということを肝に命じてレースに臨むべきである。

インカレ個人戦予選

2013年度インカレ北海道水域個人戦予選 (7月20, 21日)																					
基本情報				合計		1R		2R		3R		4R		5R		6R		7R		8R	
所属	SailNo	ヘルムス	クルー	点数	順位	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1	北見工業大学	4378	山本 竹内	61	10	10	10	8	8	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	10	6
2	北見工業大学	3883	朝妻 菊池	80	11	11	11	DSQ	12	DNF	12	11	11	DNF	12	RET	12	DNS	12	PTP	10
3	北海道大学	4424	武市 後藤/溝口	16	1	2	2	1	1	3	3	1	1	1	1	1	1	7	7	OCS	12
4	北海道大学	4161	飯塚 町谷/松谷	25	3	1	1	3	3	7	7	8	8	10	10	4	4	1	1	1	1
5	北海道大学	4075	中村 野崎	30	5	5	5	4	4	2	2	6	6	5	5	5	5	3	3	OCS	12
6	小樽商科大学	4376	長縄 徳田	37	7	8	8	PTP	10	PTP	8	3	3	4	4	2	2	8	8	7	4
7	小樽商科大学	4072	松浦 宇野	22	2	3	3	2	2	1	1	5	5	2	2	7	7	6	6	6	3
8	小樽商科大学	3878	太田 三浦	36	6	4	4	DSQ	12	9	9	4	4	7	7	6	6	4	4	5	2
9	室蘭工業大学	3542	市岡 野田	26	4	6	6	6	6	4	4	2	2	3	3	3	3	2	2	OCS	12
10	室蘭工業大学	3545	碓井 佐々木	44	8	7	7	5	5	6	6	7	7	6	6	8	8	5	5	OCS	12
11	室蘭工業大学	3669	大原 村田	58	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	10	10	10	10	9	5

3 6 6 9 村田 明日香

レース中のトラブルや、抗議に慣れていなかっなり、スタートの出だしが遅れて二陣スタートなど、まだまだレース慣れてない部分が多くて、レースは散々でした。

残念ながら9位とゆう、室工内で1番低かったです、大原の余裕がない部分、スタートのタイミング、

小樽の海面、波、潮など感覚的な部分を冷静に見ることができてよかったと思いました。

3542 野田 達也

たまに、個選の夢を見ます。レースが終わって、陸で解装しているときにふと顔を上げると市岡さんがうなだれている、そんな夢を。

実際は、最終レースでリコールをして負けました。陸では、自分たちが全国にいけると思ってた矢先にこのことを聞かされ、ショックでした。

ただ、負けた理由を言えば、ヨットに乗らされ、レース中はヘルムス一人で戦わせていたことが大きな理由なのではないかと思いました。

クルーの役割をはき違え、ただただ動作のミスをなくそうとして、ヘルムスとのコミュニケーションがないまま、ヘルムスに言われたとおりに動いてました。

こんな状態では、レースに勝てるはずもなく、また勝ったところでうれしくもないのではないかと思います。ミスも多かったです。

レースで勝つことは、大切なことです。ただ、レースに参加して、レースを楽しむことも同じくらい重要だと思います。

これからも、このことを忘れずにレースに出れたらいいなと思います。

全道選手権

2013年度全道選手権北海道予選会 (9月15, 16日)																
基本情報				合計		1R		2R		3R		4R		5R		
順位	所属	SailNo	ヘルムス	クルー	点数	順位	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1	OB	3994	佐久間	菅原/伊藤	16	3	3	3	10	10	5	5	7	7	1	1
2	小樽商科大学	4376	長縄	徳田	14	2	2	2	5	5	8	8	2	2	5	5
3	OB	3890	福永	天野	57	14	12	12	DNC	15	DNC	15	DNC	15	DNC	15
4	北海道大学	4424	武市	溝口	19	5	0CS	15	6	6	4	4	5	5	4	4
5	北海道大学	4161	飯塚	町谷	21	7	1	1	4	4	9	9	10	10	7	7
6	北海道大学	4290	中村	野崎	21	6	8	8	3	3	10	10	1	1	9	9
7	OB	3714	幸若	松谷	10	1	4	4	2	2	1	1	4	4	3	3
8	OB	4086	伊藤	後藤	30	10	7	7	11	11	12	12	6	6	6	6
9	小樽商科大学	4072	松浦	宇野	24	8	6	6	8	8	7	7	3	3	13	13
10	小樽商科大学	3878	太田	三浦	18	4	5	5	1	1	3	3	9	9	12	12
11	室蘭工業大学	3669	大原	佐々木	48	13	13	13	12	12	13	13	13	13	10	10
12	室蘭工業大学	3542	市岡	野田	33	11	11	11	9	9	2	2	11	11	11	11
13	室蘭工業大学	3545	碓井	村田	29	9	10	10	7	7	6	6	8	8	8	8
14	OB	2788	鈴木	山崎	34	12	9	9	DNC	15	11	11	12	12	2	2

3545 碓井 真大

今年の全道選手権は風が弱く、振れも多くあったため難しいレースでした。

風が弱かったため、クルーとコミュニケーションも取りやすく、海面も見余る余裕もあり、コースの相談や状況判断などがすぐにすることができた。

このレースで課題になったと感じたのが、微風でのボートスピードでした。

今後は、どの風域でもその風域でのトップスピードで走れるように、スピード感覚を意識して練習して

いこうと思う。

3542 野田 達也

レースというものが、より分からなくなったのが、この全道選手権でした。

自分がレース中にしたことといえば、スポンジで船の水をすくうことが半分でした。少し言い過ぎました。ですが、自分ができるところを探そうとしたとき、それくらいのことしか考えられませんでした。

その日の風は、大きな振れとド微風であったことを思い出します。

こういったとき、自分が何もできないことを知りました。何かしようとしても、明らかにレースに対する知識や経験が足りないことを痛感しました。

ぐんぐん前に行く艇を見て、船の軽さだけでなく、決定的に何か違うものがあるのでないかとも思いましたが、何もわかりませんでした。

レースは惨敗でした。この大会の悔しさも相当でしたが、次の大会に向けて自分が何をすべきかということが分からなくなった不安のほうが大きかったです。

今、思えばそんな時は、うだうだ後に残さないで、切り替えてしまえばよかったと思います。

大会をへんに意識して、レース自体を楽しんでいなかったかなと、少しもったいない気がします。

うーん、もったいない。そんなレース、大会でした。

インカレ団体戦予選

2013年度全日本学生ヨット選手権北海道予選 9月21, 22, 23日																														
基本情報				総合		個人		1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R	11R												
所属	SailNo	ヘルムス	クルー	得点	順位	得点	順位	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数			
1	4424	武市	溝口	177	2	57	6	3	3	5	5	8	8	4	4	9	9	3	3	5	5	5	5	4	4	2	2	9	9	
2	4161	飯塚	町谷			51	5	DNF	13	3	3	4	4	6	6	2	2	2	2	2	2	6	6	6	6	1	1	6	6	
3	4290	中村	野崎			69	7	6	6	7	7	7	7	8	8	5	5	4	4	7	7	8	8	8	8	7	7	2	2	
4	4376	長縄	徳田			47	3	1	1	1	1	5	5	3	3	3	3	8	8	8	8	4	4	1	1	5	5	8	8	
5	4072	松浦	宇野	123	1	48	4	7	7	6	6	2	2	9	9	4	4	6	6	4	4	2	2	2	2	3	3	3	3	
6	3878	太田	三浦			28	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	5	6	6	
7	3542	市岡	野田			44	2	5	5	9	9	3	3	2	2	6	6	5	5	3	3	3	3	3	3	3	4	4	1	1
8	3545	碓井	村田	199	3	80	9	8	8	8	8	9	9	7	7	8	8	7	7	6	6	7	7	7	7	8	8	5	5	
9	3669	大原	佐々木			75	8	4	4	4	4	6	6	5	5	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	4	4	
10	4378	山本	高尾			131	11	DNF	13	RET	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	DNC	13	
11	3884	菊地	中村	417	4	143	12	DNF	13	RET	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	
12	3883	朝妻	小原			143	12	DNF	13	RET	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	DNC	13	RET	13	

団体戦

3542 市岡 伸也

今年の団体戦はひどい結果になってしまいました。皆かなり苦い思いをしました。

原因は単純に、他大学と戦えるほどボートスピードがなかったことですね。

せっかくの引退試合なのでちょっとは良いこと書きたいのですが...

ここでは誰にも言ったこのない鬱々とした事を書こうと思います。

あるレースの2上で商大3艇とミートしました。3対1とかイジメかよ！商大の1,2,3位独占を阻止するために頑張りました。

あるレースで商大艇にタイトカバーされました。助けてくれたのは...北大でした。

もっとう室工同士で助け合いがしたかった...。助けてくれとは言わないけどさ...

せめて俺が助けに行けるところを走れや下手つびがあー!!

団体戦はヨット部として、個人としても目標としていた大会で本当に色々なことを感じた。自分の実力の無さを反省や後悔をしたり、大会独特の緊張感だとか、やっぱりヨット乗るのが楽しいだとかそんなことを思わせてくれる大会だった。最終的には目標には届かず残念な結果に終わってしまったが終わった後に後悔が1番大きく残った。三年生以上が3人、四年生が2人しかいないというのもあったがやっぱりそんなことは関係なく自分達の実力不足を痛感した。小樽の海と室蘭の海は同じ海なのに全然別物みたいに感じて波の存在や潮の流れなど勉強もしたし何度も小樽の海で乗っているはずなのに地元の北大や商大のフリーでの波の乗せ方は室工とは天と地の差で小樽の海はセーリングはフリーが課題としてあった。そこの差を埋めることが出来なかったのが今回の結果に繋がったと思う。室工はもっとフリーを重要視するべきなのだと感じた。

団戦予選では初日から風が強く、クルーとの息が合わずにイージーなミスを連発してしまった。また、ボートスピードを意識できていなく、艇速を維持することができていなかった。5レース目は緊張もほぐれてきて、1下まではよかったが、2上直前でラダートラブルが起こってしまった。原因は前のレースでのミスであった。

二日目は風は落ち着いていたため大きなミスが目立たなかったが、リーチングとランニングで、他艇との艇速差があり1上での順位をキープできなかった。

最終日、初めはピンダウンして出艇したが、風待ちの間にピンをあげた。しかし急に風が入ってきて、レースすることになり、ノーマルのチューニングでは走りづらい風まで上がっていた。このレースでは初日で壊れてしまったラダーの修理がうまくいっておらず、ラダーが上がってしまい、これもうまく走れない原因であった。

今年の団戦予選を通し、強風域での走りが安定していない、リーチングやランニングでのスピード感覚、整備の仕方が特に足りていない部分であったと感じた。

今年の結果をふまえ、来年の団戦では優勝するために練習していきたい。

2013年度秋季大会 (9月28, 29日)														
	基本情報				合計		1R		2R		3R		4R	
	所属	SailNo	ヘルムス	クルー	点数	順位	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1	室蘭工業大学	4152	佐藤	村田	22	5	5	5	5	5	5	5	7	7
2	室蘭工業大学	3322	大原	野田	19	3	1	1	4	4	6	6	8	8
3	小樽商科大学	3878	松浦	伊藤/久保田	9	2	3	3	2	2	3	3	1	1
4	小樽商科大学	4072	太田	小池/田中	7	1	2	2	1	1	2	2	2	2
5	小樽商科大学	2787	荒川	宇野/三浦	31	8	7	7	RET	14	7	7	3	3
6	小樽商科大学	3563	徳田	三浦/宇野	37	9	11	11	6	6	9	9	11	11
7	小樽商科大学	3136	赤前/長縄	長縄/赤前	37	10	9	9	9	9	10	10	9	9
8	北海道大学	3842	中村	森下/藤田	25	6	4	4	7	7	8	8	6	6
9	北海道大学	3793	増永	水野/田林	19	4	8	8	3	3	4	4	4	4
10	北海道大学	3993	溝口	幸若氏	26	7	6	6	DSQ	14	1	1	5	5
11	北海道大学	3840	伊藤	金井	56	13	DNC	14	DNC	14	DNC	14	DNC	14
12	北見工業大学	3883	朝妻	小原/中村	52	12	DNF	14	DNF	14	12	12	12	12
13	北見工業大学	3884	菊池	高尾	39	11	10	10	8	8	11	11	10	10

地区イン

4152 佐藤徹三郎

今年の地区インははっきり言って春季のリベンジのような気持ちで乗りました。スタートも出遅れないように位置取りなどを、クルーと一緒に考え、とにかくただ走ることに無いうように、考えながら乗りました。1レース目は五位でスタートして二下では二位に慣れましたが、フィニッシュレグで風の振れに気付かずゴール直前で止まってしまい、また五位まで順位を落としてしまいました。一日目を終えて三位の大原と三点差で二日目で抜かして入賞してやろうと張り切っていましたが、アベレージ7~8m/sの風の中レースは危険と判断され、二日目のレースはありませんでした。一日目のミスが響いた結果となってしまい改めてミスなく走ることの難しさ、大切さを感じました。

この大会で自分の成長は感じる事ができましたが、リーチングや、強風でのハンドリング、タクティクスなど足りないものもまだまだあるので、これからももっとできることを増やしていきたいです。

地区イン

3342 大原 伸

4年生が引退し、新体制になってから初めてのレースでした。また、同期とペアを組んでレースに出るのは1年生の時の新人戦以来というか、あれを正式なレースとしてカウントしなければほぼ初と断言できるので、とても楽しみでワクワクしていました。他大学も新人が多い中で、自分たちの実力でどこまでいけるか試したいという気持ちでした。

1日目はずっと2~3mの軽風という最も苦手な風でした。1レース目は他艇がスタートでもたついているうちに艇団の上位につけ、そのまま逃げ切ってなんと1位でした。人生初のトップホーンは正直あまり実感がなく、まぐれではないかとおもいました。そしてその感想は2レース目以降で現実になるのです。2レース目以降、クローズではそこそこ戦えてもダウンウインドで抜かれることが多く、1位どころかトップ3さえキープできませんでした。これを反省して挽回しようと意気込んだ2日目ですが、いい風が吹いてきたと思ったらどんどん吹き上がり、結局ノーレースになってしまい、最終結果は3位となりました。あまり納得のいくレース内容ではなかったですが、もらった賞状を励みに、次回はもっと上位を目指したいと思います。

8. 来年度への意気込み

来年への意気込み

村田 明日香

来年は最上級生となり、ヨットの技術面はもちろん、意気込み、姿勢も大切なるだろうと思います。そして、下級生のお手本となり、さらに部長として部を引っばっていかねばなりません。でも、やっぱり自分が四年間ヨット部でよかったと思えるように、他の人にもヨット部楽しいと思える部活にしていけたらいいなおもっています。また、どのレースでも一つ一つ自分の力と変えてゆき、結果を残すことも大切ですが、自分の心に残るレースにしていきたいと思います。

来シーズンへのアドバンテージ

大原 伸

2013年は僕にとって、自分の無力さを痛感させられた一年でした。2年生ヘルムスとして多くのレースに出場させてもらう中で、自分に足りない部分が浮き彫りになりました。この経験を確実にアドバンテージにできるように、来シーズンのレースまでに足りない部分を一つ一つなくして、逆に絶対に負けないという自信のある部分をつくっていききたいと思います。

また、新4年生がついに1人になり、僕たち新3年生がそれを支えながら実際に部というものを運営していく立場となりました。今までも上級生は少なかったので、そういう意識でやってきたつもりではありますが、やはり実際に上に立ってみると様々な問題に直面することがあると思います。ここでもう一度ハーネス(?)を締め直し、また新たな気持ちで部を引っ張っていききたいと思います。

堤 友輔

今年は、僕たち1年生が初めてヨットに乗り、市岡さん、渉さんをはじめOBさんや先輩方から一からヨットを学び、楽しむことができました。本当にありがとうございました。来年は、後輩も入ってくるので僕たちが先輩方に良くしてもらったのと同様に艀装の手順からロープワーク、ヨットの基本知識をやさしく丁寧に教えてあげたいです。

また、個人的にも来年はクルーとしてレギュラーを取って先輩たちと全国を目指して戦いたいです！そのためにも、日々の練習では、一年間動作練習などで身に付けた技術を礎に他の人の反省や先輩のセーリングを参考に課題を一つ一つ確実に克服し、レースに向けて努力していきます。

2013 年度収支決算収入の部

収入の部

部費		1,056,000
部費臨時徴収		0
援助金	OB・OG	169,909
	MSC	64,000
	学連	0
	学校	0
	その他	10,000
レスキューチャーター費		12,000
アルバイト代		50,000
雑費		1,907
昨年繰越金		963,817
合計		2,327,633

支出の部

負担金	全日学連分担金	80,000
	470協会費	0
	470協会費2011年度差額分	0
	MSC会費	84,000
	JSAF登録料	82,500
	スポーツ保険料	42,850
	年間上下架代	0
	計測証明証再発行代	0
小計		289,350
大会エントリー費	春季レース	4,500
	エンレムカップ	0
	個人戦予選	15,000
	国体予選	3,000
	団体戦予選	30,000
	地区インカレ	1,500
	個人戦本戦(輸送とチャーター含)	0
	団体戦本戦	0
ファミリーレース	20,000	
小計		74,000
470	修理道具	0
	艀装品	85,050
	備品	34,075
	マスト購入代	201,550
	セール購入代	6,000
小計		326,675
レスキュー	修理	46,039
	備品	34,690
	維持費	0
	小型船舶検査代	0
	ガソリン代	126,499
小計		207,228
交通費	自動車ガソリン代	242,584
	バス代	
	同支社ウィーク用	0
小計		242,584
その他	備品	21,984
	消耗品	0
	食費	101,121
	艇庫ガス代	38,096
	洞爺湖倉庫代	85,000
	ルール講習会費	17,550
	新入生歓迎会費	65,917
	部誌編集費用	36,255
	海洋センター利用券	0
	雑費	49,250
小計		415,173
合計		1,555,010

翌年繰越金	772,623
-------	---------

2014年収支予算の部

収入の部

部費	1,463,000
援助金	50,000
アルバイト代	50,000
昨年繰越金	1,142,195
合計	2,705,195

支出の部

負担金	全日学連分担金(見込み)	12,500
	470協会費(見込み)	16,000
	MSC会費(見込み)	92,000
	JSAF登録料(見込み)	172,500
	スポーツ保険料(見込み)	36,800
小計		329,800
大会エントリー費	各種	150,000
小計		150,000
470	修理道具	50,000
	艀装品	100,000
	備品	50,000
	セール購入代	500,000
小計		700,000
レスキュー	修理	10,000
	備品	20,000
	維持費	5,000
	ガソリン代	130,000
小計		165,000
交通費	自動車ガソリン代	300,000
小計		300,000
その他	備品	10,000
	消耗品	10,000
	食費	110,000
	艇庫ガス代	30,000
	洞爺湖倉庫代	70,000
	ルール講習会費	3,500
	新入生歓迎会費	20,000
	部誌編集費用	30,000
小計		283,500
合計		1,928,300

奨助金内訳

第41期 舘 雅春 様
第46期 西嶋 勇介 様
第47期 石川 千晶 様
第47期 片平 陽大 様
第47期 三吉 康太 様
第41期 門間 康志 様

第47期 青木 翔平 様
第47期 中村 竜太 様
第47期 北岡 湧 様
第46期 中山 友輝 様
第46期 山本 喜浩 様

室蘭セーリング協会会長 近藤 一生 様
民宿潮騒 様

上記の方々から2013年度に奨助金をいただきました。2014年度もチーム一丸となり研鑽を重ねていきたいと思ひます。今後も室蘭工業大学ヨット部のさらなる発展のため、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

佐藤 徹三郎

編集後記

『Reeward No. 20』の編集を務めさせていただいた田村です。村田、大原、田辺、田村、木下の5人の編集員で制作しました。本誌の作成にあたりまして、原稿を書いて下さったOBさんをはじめ部員の皆さん本当にありがとうございました。

編集の作業を行うことは初めてのことで、最初は何もわからず先輩方の動きを見て徐々に作業を進めてきました。途中、行き詰まった箇所もありましたが、アーカイブ閲覧したり先輩方に聞き、手伝ってもらいなんとか完成にたどりつきました。しかしながら、期限内に原稿が集まらずに、発行が当初予定から3ヶ月以上も伸びてしまい残念な思いです。

時間が経つのは早いもので、もう入部してから1年が経過しました。この1年楽しい思い出も、苦い経験も、はじめての命の危険を感じたこともありました。他の道を歩んでいたら絶対に体験できないであろう、このような新しい環境のもとで自分を成長させることができたのではと思っています。これからも幾度なく経験することだろうと思いますが、めげることなくセーリングを楽しみます。そして、先輩方の背中を追いかけ追い越すことができるように日々の努力を怠らずに練習に励みます。

ヨットについてOBさんをはじめ、現役の先輩方から様々なことを教えて頂きました。新入生が入ってくることで上級生になることに少し不安も抱いておりますが、間に立つことになるので、教えて頂いたことを生かし後輩への指導と先輩方へのサポートをこなせるようにしたいです。そして、ヨット部のみんなで勝利を目指し、安全に日々の練習に努めていきます。

最後になりますが、昨年的一年を活動できたのは海洋センター、エンルムマリーナの方々をはじめ、近藤さん、OB、OGの皆さん、洞爺湖町の方々のご支援、ご協力のおかげです。そのことを日々忘れることなく部員一同、これらも活動していきます。

今後とも室蘭工業大学ヨット部をよろしくお願い申し上げます。